

平成 30 年度 第 1 回広報・広聴委員会会議報告

日 時	平成 30 年 5 月 2 日（水）13:30～17:00
場 所	富山県職員研修所（研修室 2）
出席者	佐合委員長、高木副委員長、宇野、坂口、田中、 福嶋、藤吉、原田・白川・飛山（事務局）
欠席者	吉原委員

○開会あいさつ（佐合委員長）

○自己紹介

○委員会規則について

- ・会則における委員会設置の根拠、委員会運営要領について確認した。

○報告・協議

(1) 報 告

a 会誌『記録と史料』第 28 号について

- ・平成 30 年 3 月 30 日に発行、発送済み。

b 会報第 103 号について

- ・平成 30 年 3 月 30 日に発行、発送済み。

c 平成 29 年度第 2 回役員会について

- ・役員会の概要について、当日出席した原田委員より報告した。

d 平成 30 年度全史料協の組織体制について

- ・平成 30 年度の全史料協役員名簿に基づき、本年度の体制について確認した。

(2) 協 議

a 平成 29 年度事業結果報告・決算報告について

- ・事業結果報告・決算報告につき、報告。
- ・事業費について、当初予算に委託料を計上していた会誌・会報の印刷製本と発送業務は、委託料の一部を印刷製本費と通信運搬費に流用し、個別に発注した。
- ・6 月 14 日の役員会で承認を受ける予定。

b 平成 30 年度事業計画・予算案について

- ・第 2 回広報・広聴委員会は、8 月上旬を中心に東京にて開催予定。第 3 回も東京にて、全国大会前に開催予定。
- ・会誌・会報の印刷製本と発送は、昨年度の実績を踏まえ、印刷製本費と通信運搬費にて対応することとした。
- ・事務局事務費の旅費について、連絡調整に必要との意見があり、例年並みの額を計上することとした。

c 会報第 104 号の編集

- ・以下のスケジュールで進行する。
構成決定：6 月中旬、原稿依頼：6 月下旬、原稿締切：8 月上旬、
発行：9 月下旬
- ・平成 30 年度全史料協総会および関連行事をまとめ、紹介する内容とする。

d 会誌『記録と史料』第 29 号の編集

- ・過去の会誌の特集テーマを概観し、取り上げるべきテーマについて議論した結果、昨今の状況に鑑み、公文書の管理に関することを候補とし、取り扱うことになった。その切り口として、次に掲げる事柄を扱えるか、継続して検討することになった。
公文書管理の在り方の問題について様々な立場から発信
公文書管理法施行 5 年後見直しについて
公文書利用の多様性
会誌『記録と史料』第 24 号の特集「公文書管理条例のいま」以降の状況紹介
- ・「世界の窓」について
世界的なアーカイブズの動向について情報収集し、依頼できるようにしたい。
- ・その他の「ネットワーク」「書評と紹介」「資料ふぁいる」などのシリーズについて、掲載候補を出し、8月の委員会まで継続して各自、情報収集を続けることを確認した。

e その他の事業について

- ・大会・研修委員会による全国大会関連情報提供について、会員への迅速な情報提供に向けて対応する。
- ・会誌『記録と史料』における「刊行物情報」について、会員からより多くの情報を提供していただき、会員相互の情報共有を促せるよう、紙媒体のみならず Web ページ上において PDF データなどで公開している場合も対象とする方針を確認した。

○連絡事項

a 次回開催場所と日時

- ・東京にて開催予定、8月上旬を中心に日程調整を行う。